

横浜市立大学沿革

明治15年 4月	横浜商法学校（予科2年、本科3年）
明治21年 2月	横浜商業学校（5年制）
大正6年 4月	横浜市立横浜商業学校（Y校）
昭和3年 4月	横浜市立横浜商業専門学校（Y専）創設
昭和8年 7月	附属横浜経済研究所設置
昭和19年 4月	Y専を横浜市立経済専門学校に改称
昭和19年 4月	横浜市立医学専門学校設立
昭和22年 7月	横浜医科大学となる
昭和24年 6月	横浜市立経済専門学校を母体として横浜市立大学創設（商学部設置）
昭和27年 4月	横浜市立医科大学を母体に医学部設置、文理学部設置
昭和36年 4月	大学院医学研究科博士課程設置
昭和45年 4月	大学院経済学研究科及び経営学研究科（博士前期課程）設置
昭和59年 4月	木原生物学研究所設置
昭和62年 4月	医学部及び医学研究科が金沢区福浦キャンパスに移転
平成元年 4月	大学院総合理学研究科（博士前期課程）設置
平成3年 4月	大学院経営学研究科（博士後期課程）、大学院総合理学研究科（博士後期課程）設置
平成5年 4月	大学院国際文化研究科（博士前期課程）設置
平成7年 4月	文理学部を改組して国際文化学部・理学部設置、看護短期大学部設置
平成8年 4月	大学院国際文化研究科（博士後期課程）設置
平成9年 4月	大学院経済学研究科（博士後期課程）設置
平成10年 4月	大学院医学研究科（修士課程）設置
平成13年 4月	大学院総合理学研究科生体超分子システム科学専攻博士前期・後期課程設置
平成15年 4月	大学院医学研究科博士課程改組
平成17年 4月	商学部、理学部、国際文化学部を統合した国際総合科学部（国際総合科学科7コース）を設置 大学院経済学研究科、経営学研究科、総合理学研究科、国際文化研究科を統合して大学院国際総合科学研究科（博士前期課程4専攻、博士後期課程5専攻）設置 看護短期大学部を4年制の看護学科とし、これまでの医学部医学科と併せた医学部に改組
平成21年 4月	国際総合科学研究科を専門性に特化した都市社会文化研究科、国際マネジメント研究科、生命ナノシステム科学研究科の3研究科に再編
平成22年 4月	大学院医学研究科看護学専攻（修士課程）設置
平成25年 4月	生命ナノシステム科学研究科生体超分子システム科学専攻を改組して生命医科学研究科（博士前期課程・博士後期課程）を設置、ナノシステム科学専攻及びゲノムシステム科学専攻を物質システム科学専攻及び生命環境システム科学専攻に名称変更
平成30年 4月	データサイエンス学部設置
平成31年 4月	国際総合科学部を改組して国際教養学部、国際商学部、理学部設置
令和2年 4月	データサイエンス研究科設置